

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公開番号】特開2000-83968(P2000-83968A)

【公開日】平成12年3月28日(2000.3.28)

【出願番号】特願平10-257408

【国際特許分類第7版】

A 6 1 C 5/02

【F I】

A 6 1 C 5/02

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月15日(2005.3.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

シャフト部と、シャフト部に連なり螺旋状の切刃からなる作業部とを有する歯科用根管治療器具であって、作業部の横断面が、短辺対長辺の辺比が1：1.5乃至1：5の長方形であることを特徴とする歯科用根管治療器具。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために本発明に係る歯科用根管治療器具は、シャフト部と、シャフト部に連なり螺旋状の切刃からなる作業部とを有する歯科用根管治療器具であって、作業部の横断面が、短辺対長辺の辺比が1：1.5乃至1：5の長方形に形成されたものである。